

# 6月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧いただけます。



## 多文化共生のための環境整備について



創政クラブ 矢部 伸幸

**議員** 外国人に対する窓口業務における課題について伺います。

**市民生活部長** 言葉の問題から意思疎通が困難となっており、通訳を介す場合も対応に時間がかかっています。また、スマートフォンの翻訳アプリなどを使用する場合がありますが、専門用語が伝わりにくいといった課題があります。

**議員** 今後の対策について所見を伺います。

**市民生活部長** 窓口情報の多言語化、やさしい日本語の使用、DX技術の活用など、さまざまな視点で対策を検討し、関係部署との連携を深めることで、住民サービスの提供に努めていきたいと思っています。

**議員** 話した内容を同時翻訳し、アクリル板に文字で映し出す機器など、新たなコミュニケーションツールが開発されていますが、外国人への窓口業務に対する市長の所見を伺います。

**市長** 非常に面白い提案ですが、当面は通訳を中心に対応するとともに、

窓口にタブレット端末を導入予定であり、11カ国語に対応可能となりますので、各所に配備し活用していきたいと考えます。また、議員提案の翻訳機器が適した場所もあると思いますので、今後検討していきたいと思っています。

**議員** 多文化共生に向けた今後の取り組みについて、所見を伺います。

**市長** 子どもたちには多くの可能性がありますので、それを引き出すような環境をつくってきたいと思っています。言語はもちろん、学習支援も併せて行うことで、外国籍の子どもたちが将来なりたい職業に就けるような準備を徹底してやっていきたいと考えています。



## 奨学金の拡充等における若者支援の充実について



公明党 星野 一広

**議員** 本市で検討している新たな給付型奨学金の考え方について伺います。

**教育部長** 国の支援対象となるのは一部の世帯であり、貸与型奨学金では多くの人が返済に苦しんでいることから、国の支援が届かない本市の子どもたちを給付型奨学金で支援したいと考えています。

**議員** 新たな給付型奨学金の内容について伺います。

**教育部長** 給付額は月額5万円、人数は約50人を想定しており、具体的な内容は検討中です。

**議員** 実施時期について伺います。

**教育部長** 令和7年4月からの実施を目指しており、今後事業の詳細を詰め、議会に提案したいと考えています。

**議員** 県では、奨学金返還支援制度により、従業員の奨学金返還を支援する中小企業等に対する補助を実施していますが、本市での導入について所見を伺います。

**産業環境部長** 県の奨学金返還支援

制度や企業の奨学金代理返還制度の活用を促進するための周知を図り、今後企業からの要望の声が大きくなった場合には、支援を研究していきたいと考えています。



**議員** 給付型奨学金にかかる市長の思いを伺います。

**市長** 現在計画している年間60万円、50人を対象とした給付型奨学金というのは、全国でも最高レベルの制度になると思います。行政改革と経費削減を進めることで財源の確保に努め、奨学金を継続的なものとし、子どもたちへの支援を手厚くしていきたいと考えています。

### ■その他の質問

・多文化共生センターと外国人児童生徒教育について



## 農業振興と耕作放棄地の再生について



日本共産党 水野 正己

**議員** 本市は独自に耕作放棄地対策を実施しており、農地の集積もされていますが、耕作放棄地は増加傾向です。市長が言及してきた市独自の大型コンバイン購入補助だけではなく、他の機械購入への補助や耕作放棄地を継続して再生・活用できるような補助、物価高騰対策などを、大規模農家だけではなく、兼業農家なども対象として支援を拡大することが重要と考えますが、所見を伺います。

**市長** 耕作放棄地の問題については、やはり大規模な農地を扱う認定農業者に頼らざるを得ないと考えます。現在認定農業者に対しては、耕作放棄地の借り受けを条件に、農業用機械などの購入に対し200万円を上限に補助金を出していますが、さらなる規模拡大を支援するために、大規模農業者の農業用機器の購入に対して、1千万円程度の新たな補助金の導入を検討しています。また、景観保護の観点から、耕作放棄地を花畑にする取り組みも進めていきたいと考えています。農

政部でも前向きに取り組んでおり、予算をつけ応援していきたいと思っています。

**議員** 市の支援・補助の拡大など経済的インセンティブがあれば、農業継続や新たな担い手の創出につながると考えますが、所見を伺います。

**市長** 緑町のように土地改良を行い、耕作しやすい環境をつくるのが必要だと考えます。田んぼの形状を変えて、貸借関係を整理しながら耕作放棄地を減らすというのが一つの方法だと思います。今後も農業に対しては関心をもって、必要なところは手当てをしていきたいと考えています。



### ■その他の質問

・農業振興と都市計画について



## 本市の今後の地域振興と各行政センターの役割について

一各地区が抱える諸課題と市としての対応について



市民の会 尾内 謙一

**議員** 各地区の問題は少子高齢化や社会状況の変化により、深刻度が増していると考えますが、所見を伺います。

**地域振興部長** 少子高齢化などの影響により、急速に状況が変化しており、さまざまな課題が顕在化してきています。今後は、地域の変化に対応していくために、潜在している諸課題の把握、情報の収集と分析を行い、対応していく体制を整えることが課題であると考えています。

**議員** 今回の機構改革で地域振興部が新設され、各行政センターに課長が配置されました。市として地域の諸課題に取り込む姿勢を明確に示した対応だと思いますが、各行政センターの役割の変化と効果について伺います。

**地域振興部長** これまでの基本的な業務に加え、市民に最も近い場所でさまざまな課題の解決に向け対応していくことが中心的な目的であり、適切な地域の状況把握に努めたいと考えています。

**議員** 機構改革の狙いについて、市長の所見を伺います。

**市長** 高齢化社会の中で、今まで別々の部署で所管していた区長や民生委員、ふれあい相談員を地域の行政センター所長のもとに集結することで、地域全体で高齢者を守る体制ができたと考えます。



### ■その他の質問

・各行政センターへの職員配置について  
・地域振興と財政方針について  
・太田強戸スマートインターチェンジの周辺整備と周辺施設の活用について  
・八王子山公園(北部運動公園)の今後の整備と利活用について  
・インターチェンジ隣接の市有地の現状と今後の活用について